住み慣れた自分の地域で
元気に暮らし続ける
ことができるまちづくり。

IMAKANE

今金町地域福祉計画

（平成27年度～32年度）

－概要版－

平成２７年２月　今金町

IMAKANE

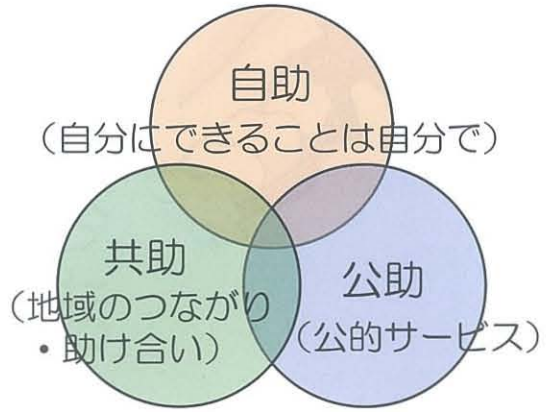
今金町地域福祉計画

計画の背景

今金町においては、平成 22 年の国勢調査における、総人口は 6,186 人、総人口に占める 65 歳以上人口の割合は 33.1% と、高齢化の傾向はより顕著となっています。こうした状況の下で、医療・福祉の取り組み、地域コミュニティの取り組みに加えて、地域包括支援センターの設立、今金町健康増進計画の策定、デマンドバスの運行など、さまざまな福祉の取り組みが進められてきました。

しかしながら、今後ますます増大する福祉の課題に向き合い、住み慣れた自分の地域で、元気に暮らし続けることができるまちづくりを実現するためには、「自分にできることは自分で（自助）」を基本とし、「地域のつながり・助け合い（共助）」の関係の充実を図っていくことが求められます。かつては「家族」という関係の中に、子どもをしつけたり、年老いた親の面倒をみたり、家族の伝統を継承したり、さまざまな機能が働いていました。家族という単位が縮小した今は、地域という単位でいろいろな役割をお互いに担い、機能させていくことが必要です。

そのため、地域の担い手として、若い人達はもちろん、高齢者も含めてすべての人達が参加する福祉のまちづくりを目指し、地域に住む人たちが知恵を出し合い、計画し、実践していくための指針として、本計画を策定しました。

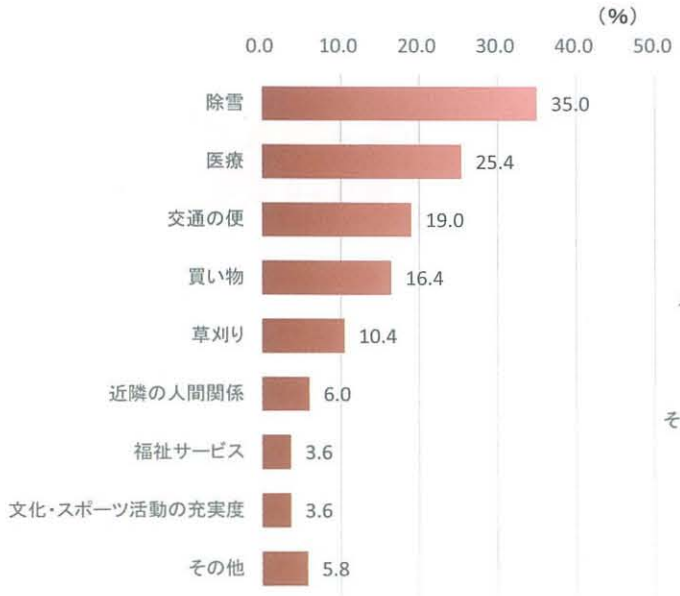


アンケート調査結果より

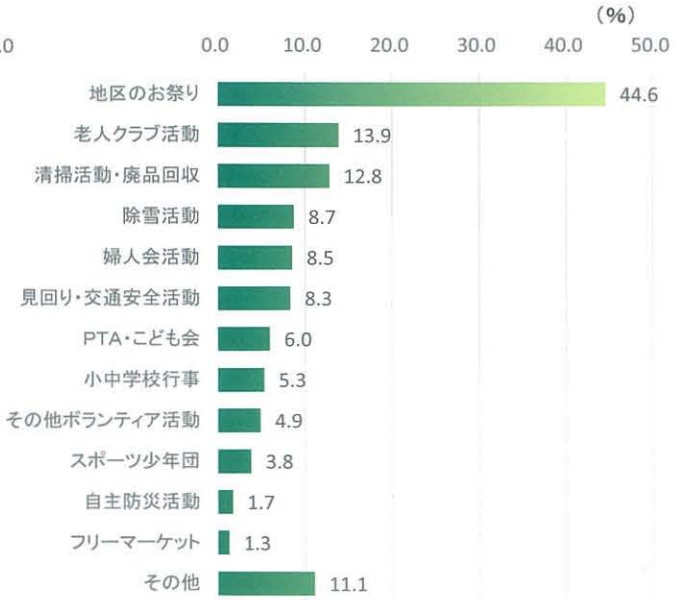
住民アンケートの結果によると、今住んでいる地区の不満として、冬の除雪についての不満が35.0%と最も多く、次いで「医療」「交通の便」「買い物」についての不満が多いことがわかりました。

一方、現在参加している活動や行事では「地区のお祭り」が 44.6%と最も多く、次いで「老人クラブ活動」が多いことがわかりました。その他の自由回答では「カラオケ」という回答が複数見られました。

今住んでいる地区の不満

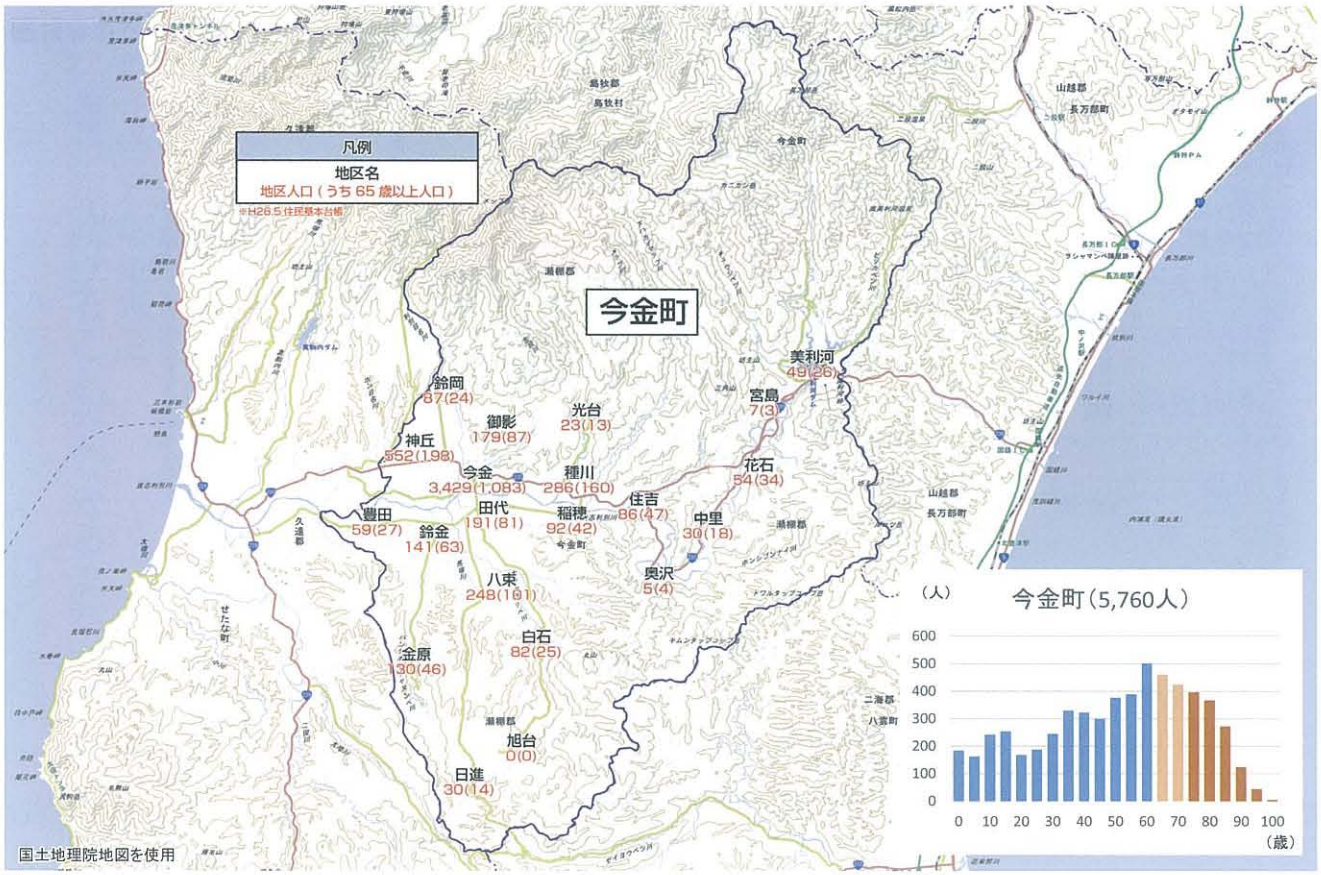


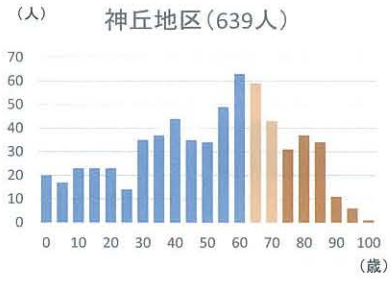
現在参加している活動や行事

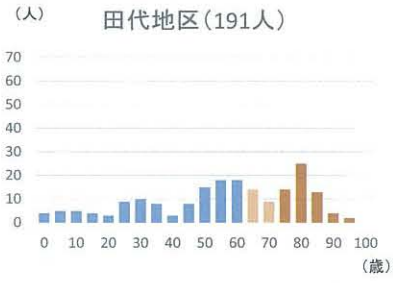


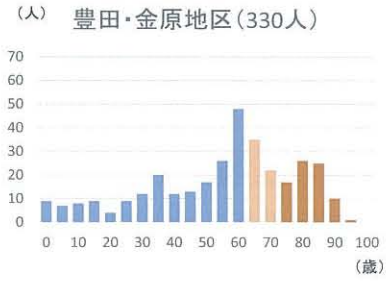
今金町の地区別人口と年齢分布

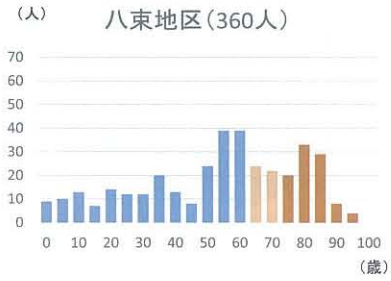
平成２６年５月の住民基本台帳人口によると、今金町の人口は約６千人弱となっており、年齢分布を見ると 60 歳～６５歳の年齢層が最も多くなっています。町内を７地区に分類すると、人口の過半数が今金地区に集中していることや、人口減少に伴うコミュニティの衰退が危惧される地区があることなどが読み取れます。

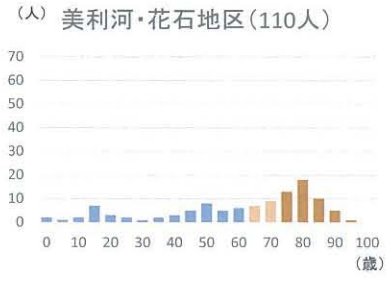












こうした今金町の状況を踏まえると、お祭りや老人クラブ活動、あるいはカラオケなどのレクリエーションを通じて、地域のコミュニティの活性化を図ることが大切です。

日々のふれあいの中から、雪かきや、通院・買い物などに不便を感じている人を助け合うなどの取り組みが自然と生まれてくることが期待されます。

計画の位置づけ・計画のテーマなどについて

今金町地域福祉計画は、町の総合計画と関連しながら、地域福祉のさまざまな課題とその解決に向けた取り組みについて整理したもので、平成27年度からの6か年計画となります。平成26年度は本計画の策定のため、アンケート等の調査や、計画策定委員会を通じた意見交換を行いました。

計画の位置づけ

本計画は下図に示す通り、今金町の総合計画や福祉関連の各計画、実践計画、その他地域のさまざまな計画と関連しながら、さまざまな施策を展開していくものとなります。

【主な関連計画】

- ●都市計画マスタープラン
- ●教育・生涯学習関係計画
- ●男女共同参画関係計画
- ●次世代育成支援行動計画
- ●住宅マスタープラン
- ●住宅整備関係計画
- ●保健事業関係計画
- ●母子保健関係計画
- ●健康増進計画
- 他

計画策定に向けて

本計画の策定に向けて、以下のような基礎調査・策定委員会の開催を行いました。

基礎調査

【方法】

統計資料や実績資料などから、今金町の人口推移や地区別人口、福祉に関する基礎情報などを整理しました。

アンケート調査

【方法】

住民基本台帳からの無作為抽出により、地域福祉に関する住民アンケート調査を実施しました。

20歳以上の今金町在住者に1000票配布し、469票を回収。
（回収率 46.9%）

現状課題の抽出

計画策定委員会

【役割】

地域の事業者の立場、福祉サービスの利用者の立場から、福祉計画策定に向けた意見交換を行う。

【運営方法】

策定委員会は大きく4つの部会に分かれますが、全体会議では共通のテーマで、テーブルごとに意見交換を行い、必要に応じて部会ごとの議論を深めました。

第1回：計画の趣旨説明、今金町の現状認識とこれまでの福祉の取り組みについての情報交換・共通認識の確立
第2回：課題の抽出、これから必要な福祉施策と、役割分担について
第3回：計画実施に向けた地域の体制構築について

計画のテーマ・基本方針

計画のテーマ・基本方針を以下のように定めました。

住み慣れた自分の地域で元気に暮らし続けることができるまちづくり

① 地域が中心となって取り組む福祉の体制づくり

地域包括ケアの体制を強化し、福祉に携わる専門職・団体のみならず、さまざまな地域の連携を活発化し、「自分にできることは自分で」を基本としつつも、お互いに声をかけあい、助け合える体制づくり・ルールづくりを進めます。

② 人材育成・環境づくり

コーディネーターやボランティアなど、地域福祉に関わる知識・経験を有する人材を育成し、高齢者や障がいを持った方にも地域と関わる役割を担っていただけるような環境づくりを進めます。

③ 連携・協働によるさまざまな福祉課題の解決

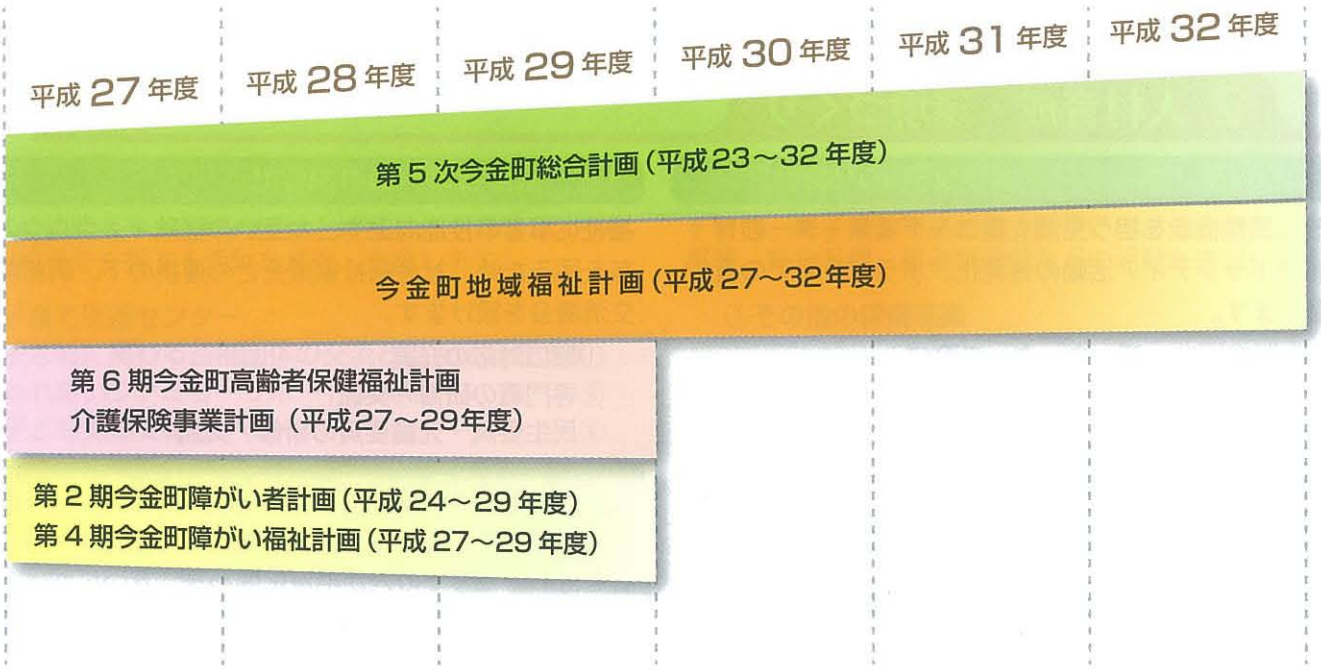
人と人とがふれあえる場所づくりや、除雪や外出の支援、健康増進や、生きがいの創出など、さまざまな地域の福祉課題の解決に向けた取り組みを活発にします。

④ 相談窓口機能の充実・福祉施策の地域への浸透

相談窓口機能を充実させ、福祉施策の地域への浸透を図るとともに、地域の方が抱える悩みを気軽に相談しやすい環境をつくります。

計画の期間

本計画は、平成２７年度から平成３２年度までの６か年の計画とします。



IMAKANE 今金町地域福祉計画 住み慣れた自分のまちで元

地域福祉の課題は幅広く、まちぐるみでの取り組みが必要とされています。今金町の地域福祉計画では、「住み慣れた自分のまちで元気に暮らし続けることができるまちづくり」をテーマに掲げ、体制づくりを第一とする４つの基本方針に基づき、地域の様々な団体、専門職、ボランティアの方々と連携し、取り組んでいきます。

1 地域が中心となって取り組む福祉の体制づくり

（1）関係機関の連携体制づくり

福祉に携わる地域の様々な団体、専門職、ボランティアの方々と連携し、地域の福祉の課題に取り組みます。

①様々な組織・部署の横断的連携
②社会福祉協議会との連携・支援強化
③生活支援コーディネーターの配置
④協議体の設置
⑤地域ケア会議等の開催
⑥町内の事業者への福祉に対する理解と協力

（2）地区毎の取り組み体制づくり

自治会、町内会や老人クラブなど、様々な地域コミュニティの参加を促進し、活動の活発化を図ります。

①地域コミュニティの充実・参加しやすい環境づくり
②地域の方々が集まれる仕組みづくり
③自主防災組織づくり

（3）高齢者の生きがい・地域における役割の創出

元気な高齢者が、これからも元気でいられるための「生きがい」づくりとして、社会福祉協議会との連携を図りながら、地域として高齢者の方々に、それぞれの健康の度合いに応じて無理なく地域における役割を担っていただき、生きがいを感じてもらえるような体制をつくります。

（4）役割分担

「見守り・声かけ・気配り」が地域にくまなく行き渡るように、民生委員・児童委員や、自治会・町内会との連携を図ります。地域と関わる事業者の方にも「声かけ」などに協力していただけるよう、働きかけていきます。生活支援コーディネーターがそうした役割分担の実現に向けて、調整の役割を果たします。

（5）個人情報の取り扱いなどのルールづくり

「見守り・声かけ・気配り」という、地域における福祉の実践を進めるため、個人情報の取り扱いについてのルールづくり、マニュアルづくりを行います。

（6）地域資源の活用

集いや語らい、学習、交流、託児などの活動場所として、学校などの公共施設、空き店舗や遊休施設などの活用を図ります。

2 人材育成・環境づくり

（1）コーディネーター・ボランティアの育成

総合的な調整機能を担う生活支援コーディネーターの育成、各種ボランティア活動の活発化、ボランティアの育成を図ります。

①生活支援コーディネーターの育成
②ボランティアセンターの充実
③バリアフリーボランティアの育成
④ボランティア、ボランティア活動団体の活動支援

（2）研修会等への参加促進

福祉従事者の技能向上や、お互いの経験・ノウハウの共有を図るため、社会福祉協議会との連携の下、研修機会・交流機会を設けます。

①窓口対応の充実
②専門職の研修・交流
③民生委員・児童委員の研修・交流

（3）生涯学習の推進

今金町に住む１人１人が「０歳から最後まで」学べる環境づくりを推進していきます。

①小中学校における学習機会の創出
②地域における学習機会の創出

（4）地域が１つとなって取り組める環境づくり

ノーマライゼーションの精神に基づき、高齢者や障がい者を含め、すべての人が地域に関わり、互いに助け合える環境づくりを進めます。

①ノーマライゼーションの推進
②障がい者の雇用とそのための環境づくり
③まちづくりへの積極的な参画

気に暮らし続けることができるまちづくり

地域の皆様にも「自分でできることは自分で」の精神を大切に、お互いに声をかけあい、支え合う、地域福祉の取り組みに参加していただければ幸いです。

3 連携・協働によるさまざまな福祉課題の解決

（1）ふれあいの場・機会の創出

今金町の各地区に、何かの行事の時に集まれる場所や、何もなくても気軽に集える場所を増やしていきます。

①ふれあいの場づくり
②祭りや余暇などふれあえる参加機会
③世代間の交流

（2）除雪

道路・歩道の効率の良い除雪を行う他、地域コミュニティの協力の下で、個人宅などの除雪の支援体制を強化します。

①道路・歩道の除排雪
②除雪支援

（3）外出支援活動

地域の事業者等の協力を得て、買い物や通院など、地域の足を確保するためのバス運行や送迎サービスを行います。

①日常の外出支援
②行事の際の外出支援

（4）自主防災活動

各地区ごとに危険箇所の確認、避難場所・避難経路の確認や、防災訓練、安否確認の必要な人の把握を行います。

①防災マップ・交通安全マップ等の作成
②訓練機会、防災意識の向上
③安否確認に向けた情報共有

（5）美化・緑化活動

町内会、自治会フラワー部会、沿道の事業者などの協力を得て、沿道の花植えや草刈り、清掃活動に取り組みます。

①美化・緑化活動
②清掃活動

（6）その他の生活支援活動

社会福祉協議会との連携の下で、配食サービスや、買い物、掃除等、各種支援サービスを行います。

①生活支援サービス事業
②自立支援事業「おたすけたい」

（7）子供たちの健やかな成長のための活動

社会福祉協議会や、地域の団体と連携し、子育てや、子供たちの成長を支援する活動を推進・支援します。

①子育て支援センター
②子どもに関わる各種団体の交流と自主活動の促進
③ふれあいファミリーサポート事業等
④子ども発達支援センター

（8）その他の保健事業

その他、母子保健や高齢者、障がいのある人のための保健事業、精神保健、思春期保健などの活動を支援します。

①その他の保健事業

（9）町民の健康づくり・体力づくり

関係機関・関係団体との連携・協力により、健康づくり・体力づくりのプログラムを実践する他、スポーツ活動を通じて、楽しく健康増進を図ります。

①健康増進計画の実践
②スポーツ活動の推進

（10）バリアフリーの推進

住み慣れた地域で住み続けることができるように、住宅改修の支援など、バリアフリー環境の整備に取り組みます。

①住居のバリアフリー
②地域のバリアフリー

4 相談窓口機能の充実・福祉施策の地域への浸透

（1）相談窓口機能の充実

相談窓口機能を充実させ、福祉施策の地域への浸透を図るとともに、地域の方が抱える悩みを気軽に相談しやすい環境をつくります。

①地域における多様な相談への対応
②緊急時の情報通信
③要支援者および家族の悩みごとを打ち明けあえる場所
④転入者への情報提供
⑤就労支援
⑥ボランティア活動に対する助言・相談窓口・コミュニティビジネス
⑦福祉サービスの改善に向けた対応

（2）色々な広報手段の有効活用

地域包括ケア、介護予防などのサービスの枠組みや、行事のスケジュール、ボランティア活動の紹介などをわかりやすく広報します。

①広報誌・ホームページ等の充実
②啓発パンフレット等の作成
③ＩＣＴを活用した行事情報等の発信
（※ICT: インターネットなどの情報手段）

（3）各種制度の普及啓発

認知症、知的障がい、精神障がいなどの方々の生活支援、権利・財産を守るための相談・助言をする各種制度について、普及啓発を行います。

①成年後見制度の普及啓発
②地域福祉権利擁護の普及啓発

住み慣れた自分の地域で元気に暮らし続けることができるまちづくり

今金町地域福祉計画

－概要版－

平成２７年２月
今金町